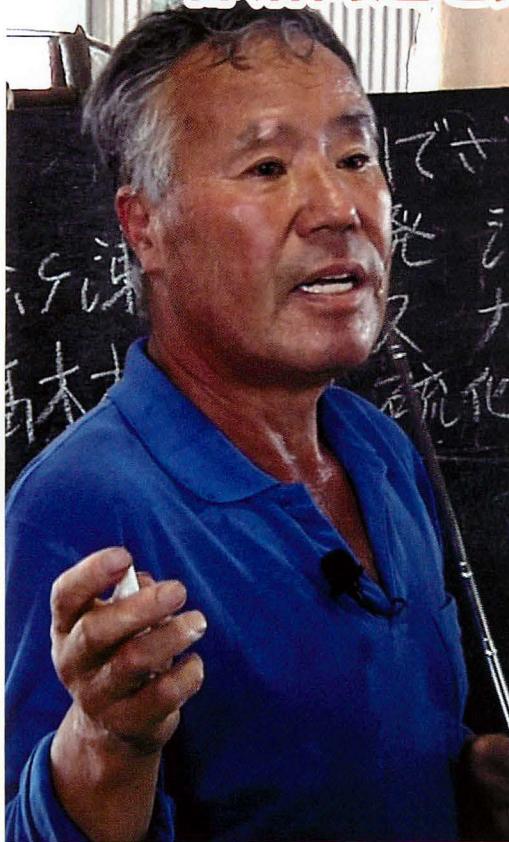


部落問題を文化を切り口に見つめ直す3作品



**かわ 第24巻
皮革から見える部落問題
～皮革研究家・柏葉嘉徳～**

皮革を通して部落問題を伝え続ける柏葉嘉徳さん(71)。自身の工場でのユーモア溢れる講演と皮なめしの体験学習が参加者の意識を大きく変えていく。

(兵庫)

**第25巻
芸能と差別
～ひとり芝居・中西和久～**

芸能万華鏡「しおだづま考」を演ずる中西和久さん。三代続く役者稼業の歴史は、100年に及ぶ部落解放運動の歴史と重なっていく。

(福岡)

**第26巻
生きた童話を届けたい
～猿まわし・筑豊大介～**

途絶えていた猿まわし芸を復活させた功労者の一人・筑豊大介さん(58)。叩き仕込みではなく言つて教える本仕込みの教育論が注目を浴びる。

(福岡)

- 第1巻 「更池の語り部」—吉田小百合—
- 第2巻 「人の値うちを問う」—江口いと—
- 第3巻 「あした元気になあれ」—松村智広—
- 第4巻 「人の世に熱と光を」—清原隆宣—
- 第5巻 「峠を越えて」—森口健司—
- 第6巻 「差別っていったい何やねん」—川口泰司—
- 第7巻 「人間の尊厳を求めて」—森田益子—
- 第8巻 「ぬくもりを感じて」—中倉茂樹—
- 第9巻 「私からはじまる人権」—柴原浩嗣・宮前千雅子—
- 第10巻 「えびす舞に思いをのせて」—辻本一英—

DVD BOX I (1~10巻)

- 第21巻 「結婚差別 400事例」—弘瀬喜代—
- 第22巻 「心の窓を拓いて」—明石一朗—

- 第11巻 「あすなろを生きる」—野上早苗—
- 第12巻 「若い力は今」—吉岡綾一—
- 第13巻 「母娘で問うた部落差別」—坂田かおり・愛梨・瑠梨—
- 第14巻 「人権感覚を磨きませんか」—大湾昇一—
- 第15巻 「夫婦で差別と闘います!」—石井真澄・千晶—
- 第16巻 「ドラゴン流“人権とダンス”」—松本柳子—
- 第17巻 「仕事作りが私の仕事」—植並鈴枝—
- 第18巻 「無知を許さず」—浦本誉至史—
- 第19巻 「差別を許さない自分づくり」—長谷川サナエ—
- 第20巻 「52歳の立場宣言」—岡潤爾—

DVD BOX II (11~20巻)

- 第23巻 「歩(ふ)の歩み 80年」—山本栄子—



講演と体験学習

ムラには最盛期70軒もの皮革工場があった。父の代から生業とし、自身も10歳の頃から皮革一筋の人生を歩む。

姫路の皮なめし

古代朝鮮から伝わった皮なめし。明治以降、近代日本の皮革産業を支えてきた。その歴史をひも解く。

イギリスで講演

2年前、皮革の本場イギリスに招かれた。日本人では初めて皮革技能士の称号を授与され、大学での講演も好評を博した。

第25巻 芸能と差別



世界を巡る「しのだづま考」

日本の芸能の源と言われる説経節を基に創られた異類婚姻譚。中西の代表作。文化庁芸術祭賞の他、海外でも受賞多数。

三代つづく旅役者

祖父は座長をしながら水平運動に。松本治一郎との縁は、父の人生を変え、大学進学、教師への道を拓いた。

役者か教師か

同和教育の教師を目指していたが、父の最後の戯曲が演劇への道を決断させた。今、芝居で思いを伝える。

第26巻 生きた童話を届けたい ~猿まわし・筑豊大介~



歴史を通して人権を考える

古来より猿は馬の健康を守る使いとして崇められてきた。猿まわしは部落の伝統芸能であり生業だった。

部落差別・つながり・平等

消滅していた猿まわし復活の三原則は、部落問題・人と人とのつながり・平等。そして「生きた童話」の再現だった。

輪の芸能

高齢者施設、障害者施設、保育所、小学校などで心待ちにする人たち。心も癒す猿まわしが平等の輪を作る。

製作／酒井邦一・田中幸夫

撮影／BALMA

編集／NON

整音／吉田一郎

監督／田中幸夫

第1巻～第10巻／DVD-BOX I DVD(字幕無し)

第11巻～第26巻 DVD(字幕 有/無 選択可)

DVD-BOX II(11巻～20巻)DVD(字幕 有/無 選択可)

取扱・・・

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101